

2023

1.25 (水) 12:10  
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン  
(Zoom)

登録はこちら▶▶

[https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN\\_C-a6RWhSUC8jrUTRd5wUw](https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_C-a6RWhSUC8jrUTRd5wUw)

【技術支援】九州大学 Q-AOS &amp; TEMDEC

# 高分子界面の学理構築と 社会実装への展開

司会：田中 俊徳 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)



## Key Words

高分子

界面

接着技術

モビリティ

低炭素

## 田中 敬二 教授

九州大学 大学院工学研究院応用化学部門 / 次世代接着技術研究センター



出身；福岡県行橋市

最終学歴；1997 年九州大学 大学院工学  
研究科 博士後期課程

学位；博士 (工学)

職歴；1997 年ウィスコンシン大学マジ  
ソン校博士研究員、2000 年九州大学  
大学院工学研究院 助手、2005 年同 助  
教授 / 准教授、2009 年 教授、2019 年  
同 次世代接着技術研究センター センター  
長、2021 同 主幹教授、2022 同 工学研  
究院 副研究院長

研究テーマ；高分子材料、界面工学

賞；2014 年日本学術振興会賞、2015  
年日本学士院学術奨励賞、2022 年 文部  
科学大臣表彰・科学技術賞 (研究部門)、  
APS (アメリカ物理学会) Fellow 他、学  
会賞多数

著書・論文；多数

プロジェクト；科学技術振興機構 未来社  
会創造事業 大規模プロジェクト型で革  
新的接着技術の構築を目指し、アカデミア  
11 機関、企業 20 社を牽引。

近年、材料の微小化や薄膜化に関する要請が急速に高まっています。材料が小さくなると、試料全体積に対する界面の割合が著しく大きくなります。界面では 3 次元バルク状態と比較してエネルギー状態が異なるため、その構造と物性はバルクと異なります。本講演では、高分子界面研究における最近のトピックス、また、講演者が推進するプロジェクトでの産学連携研究の在り方について紹介します。